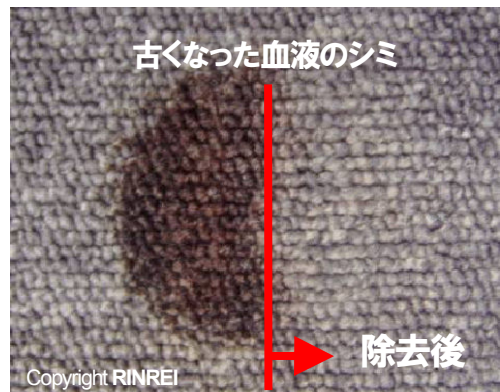
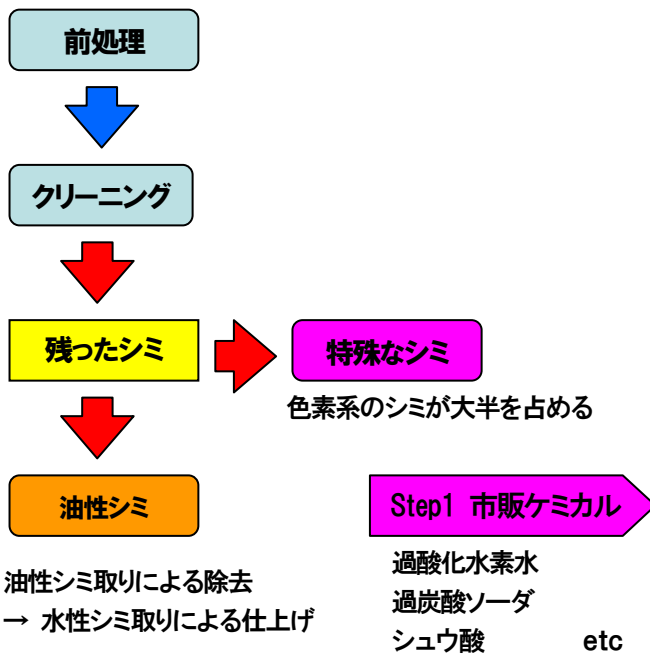


カーペット（繊維系床材）のメンテナンスレポート

シミ取り編 カーペットのシミ取りと種類別作業ポイント

カーペットのシミは、放置すればするほど除去しにくくなります。特に色素系のシミは時間経過と共に変質してしまうため、特殊な薬剤を使用してもカーペットを傷めずに除去することが困難になります。従って、カーペットに付着したシミは、極力早く除去することが基本です。常駐管理をしている場合には、ガムなどの特殊なシミを除き、そのほとんどが水性シミ取りやマルチタイプのシミ取りで除去が可能です。定期クリーニング主体の管理を行っている場合には、クリーニングを実施する前に、プレスプレー液などをあらかじめ噴霧しておくことで、大半のしみ汚れは除去されます。クリーニングを実施した後に残ったシミは、基本的に油性シミか変質し除去しにくくなったシミ汚れになりますので、これらを除去するためには、特殊なケミカル・作業手法が必要になります。



古くなった血液のシミに最も効果のある、酵素ジアスターゼを使用して除去を行った結果。

■シミ抜きにおける注意点

- シミは長期間放置しない（3日以内を目安に）
- 蛋白系のシミは温度を加えない
- 薬液は極力少な目に使用する
- 洗剤分は残留させないようにリンスは充分に行う
- シミ取りは水性用のシミ取りから使用する
- シミはタオルなどに移し取るように除去する
- 作業は外側から内側へ行い、広げないようにする

■シミ抜き作業により起こる問題点

- | | |
|------------|-------------|
| ● ブラウニング | ・ 薬剤の使いすぎ等 |
| ● 黄変 | ・ アルカリ使用の影響 |
| ● 脱色・変色 | ・ アルカリ使用の影響 |
| ● バッキングの溶解 | ・ 洗剤の選択の間違い |
| ● 再汚染 | ・ 洗剤の選択の間違い |
| ● 輪ジミ | ・ 薬剤の使いすぎ |



誤った薬剤の使用による色抜け

●油性しみのシミ取り作業



油性シミトリをシミの部分に濡らし過ぎない程度にスプレーする。

ブラシをタオルなどで包みシミの中心に向けてこすり、拭き取る。

水性しみのシミ取り作業をおこない油分を取り除く。

Copyright RINREI

●水性しみのシミ取り作業

水性しみの場合、しみの状態や種類によっては1度除去しても2～3日経つと再び中から表面に出てくる場合がありますので、その場合は何回か繰り返さなければなりません。



シミトリクリーナー(マルチタイプ)をシミの部分に濡らし過ぎない程度にスプレーする。

ブラシをタオルなどで包みシミの中心に向けてこすり、拭き取る。

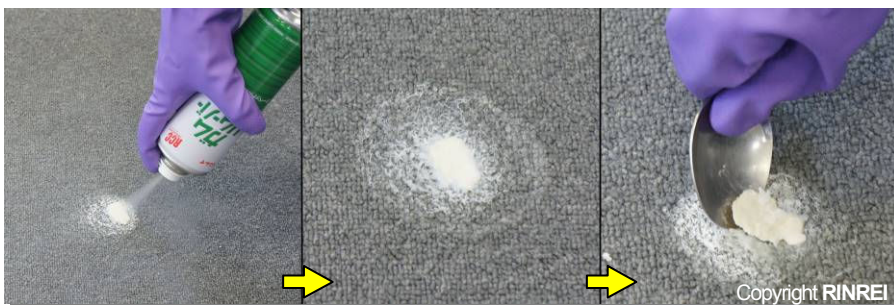
温水できれいに洗って絞ったタオルなどで拭き上げる。

乾燥後、ブラシで整えるかバキュームをかける。

Copyright RINREI

●ガムの除去作業

ガムが硬化しても時間の経過と共に柔らかくなります。柔らかくなったら再びスプレーし硬化させます。掻き取ったガムは直ちに紙袋などに回収し再付着を防ぎます。掻き取りが終わったら、油性シミトリの作業を行い、仕上げをします。



ガムリムーバーをガムにスプレーする。

ガムが白く硬化する。

硬化したガムをスプーンなどで掻き取る。

Copyright RINREI

●鉄サビしみの除去作業



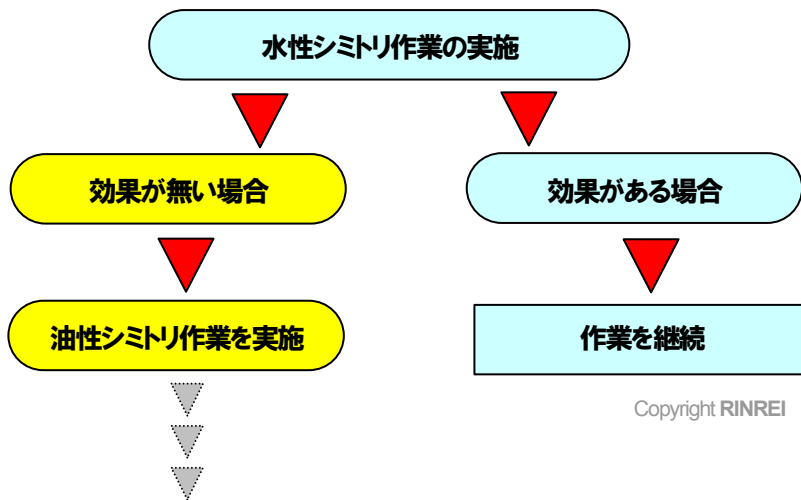
机、ロッカーなどを動かした跡に付着した鉄サビを除去します。

軽度なものは5分程度放置してから、水に浸したウエスで良く拭き取ります。頑固な鉄サビは数十分～1時間程度湿布状態で放置し、ブラシで擦りながら濡れたタオルで拭き取ります。一度の作業で取れない場合には、日を改めて何回か作業を繰り返します。

特殊な酸を使用しているため、使用の際は必ずゴーグルとビニール手袋を着用し、目や口に入らないようにしてください。

Copyright RINREI

●シミの種類が分からない場合の基本的な作業手順



どの性質を持ったシミなのか判断が出来ない場合、まずシミトリクリーナーを用いて、水性シミ取りの作業を実施します。この作業で効果のある場合は継続して行います。水性シミトリを行ってもシミが取れない場合には油性のシミの可能性が高いので、油性シミ取りの作業を行います。これで除去出来ない場合、色素系のシミになりますので、特殊な作業を行う事になります。

Copyright RINREI

■落ちにくいシミ、特殊なシミの除去作業



シミは古くなると除去しにくい状態に変質してしまいます。特に蛋白系汚れや色素系汚れは、変質してしまうと除去が困難になり、特殊な薬剤を用いなければならなくなるため、できるだけ早い段階で除去することが必要になります。以下に、一般的なシミトリ方法では除去しにくいシミの除去方法をまとめます。

| 古くなったコーヒー・ワイン・果汁系のシミ | |
|----------------------|--|
| 使用ケミカル | <ul style="list-style-type: none"> ■ RCCシミトリクリーナーマルチタイプ ■ 酸素系漂白剤顆粒 |
| タイプ分類 | 色素系汚れ |
| 作業方法 | <ol style="list-style-type: none"> ① 酸素系漂白剤顆粒をシミ部分の表面に薄く拡がる程度にまんべんなくふりかけます。 ② RCCシミトリクリーナーマルチタイプをスプレーします。 ③ シミ取りブラシでシミが広がらないように注意しながらしっかり馴染ませます。 ④ 5～10分程度時間を置きます。 ⑤ シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。 ⑥ きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。 ⑦ 乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。 ⑧ シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。 <p>※上記作業でシミが落ちなかった場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 酸素系漂白剤顆粒をシミ部分の表面に薄く拡がる程度にまんべんなくふりかけます。 ② RCCシミトリクリーナーマルチタイプをスプレーします。 ③ シミ取りブラシでシミが広がらないように注意しながらしっかり馴染ませます。 ④ 湿らしたきれいなウエスをシミ部分に乗せます。 ⑤ 弱温に設定したアイロンまたはドライヤーの温風を当てて30秒程度温めます。 ⑥ 1時間程度放置した後、きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。 ⑦ 乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。 ⑧ シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。 |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ● 作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色等がないか確認する。 ● アイロンを使用して長時間温めたい場合は、30秒毎にカーペットパイルの様子を確認しながら行う。 ● 非常に古いシミの場合には、完全に除去できない場合がある。 ● 塩素系漂白剤の使用は不可。カーペットの素材色も変えてしまう恐れがあるため、絶対に使用しない。 |





Copyright RINREI



| 古くなったお茶・紅茶のシミ | |
|------------------|---|
| 使用ケミカル | <ul style="list-style-type: none"> ■ RCCシミトリクリーナーマルチタイプ ■ 酸素系漂白剤顆粒  |
| タイプ分類 | 色素系汚れ |
| 作業方法 | <p>①酸素系漂白剤顆粒をシミ部分の表面に薄く拡がる程度にまんべんなくふりかけます。</p> <p>②RCCシミトリクリーナーマルチタイプをスプレーします。</p> <p>③シミ取りブラシでシミが広がらないように注意しながらしっかり馴染ませます。</p> <p>④5～10分程度時間を置きます。</p> <p>⑤シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。</p> <p>⑥きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑦乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑧シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p>※上記作業でシミが落ちなかった場合</p> <p>①酸素系漂白剤顆粒をシミ部分の表面に薄く拡がる程度にまんべんなくふりかけます。</p> <p>②RCCシミトリクリーナーマルチタイプをスプレーします。</p> <p>③シミ取りブラシでシミが広がらないように注意しながらしっかり馴染ませます。</p> <p>④1時間程度時間を置きます。</p> <p>⑤シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。</p> <p>⑥きれいなウエスを水で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑦乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑧シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p style="text-align: right;">Copyright RINREI</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所、カーペットに変色等がないか確認する。 ●加熱することで除去しにくくなる場合があるので、加熱は行わない。 ●非常に古いシミの場合には、完全に除去できない場合がある。 ●塩素系漂白剤の使用は不可。カーペットの素材色も変えてしまう恐れがあるため、絶対に使用しない。 |
| 墨汁のシミ、口紅・マスカラのシミ | |
| 使用ケミカル | <ul style="list-style-type: none"> ■ RCCシミトリクリーナーマルチタイプ  |
| タイプ分類 | 色素系汚れ |
| 作業方法 | <p>①RCCシミトリクリーナーマルチタイプをシミ部分にスプレーします。</p> <p>②シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。 (ウエス等は小まめに取り換える)</p> <p>③きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>④シミが除去できるまで①～③の作業を繰り返します。</p> <p>⑤乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑥シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p style="text-align: right;">Copyright RINREI</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●シミが乾燥していない場合には、ウエス等でなるべくシミを吸い取ってから作業を行う。 ●RCCシミトリクリーナーを撒きすぎると、シミが広がってしまうことがある。 ●加熱することで除去しにくくなる場合があるので、加熱は行わない。 ●塩素系漂白剤の使用は不可。カーペットの素材色も変えてしまう恐れがあるため、絶対に使用しない。 |



| カビによるシミ, 尿のシミ | |
|---------------|--|
| 使用ケミカル | <ul style="list-style-type: none"> ■ RCCシミトリクリーナーマルチタイプ ■ 酸素系漂白剤顆粒  |
| タイプ分類 | 色素系汚れ |
| 作業方法 | <p>①RCCシミトリクリーナーマルチタイプをシミ部分にスプレーします。</p> <p>②シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。 (ウエス等は小まめに取り換える)</p> <p>③きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>④シミが除去できるまで①～③の作業を繰り返します。</p> <p>⑤乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑥シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p>※上記作業でシミが落ちなかった場合</p> <p>①酸素系漂白剤顆粒をシミ部分の表面に薄く拡がる程度にまんべんなくふりかけます。</p> <p>②RCCシミトリクリーナーマルチタイプをスプレーします。</p> <p>③シミ取りブラシでシミが広がらないように注意しながらしっかり馴染ませます。</p> <p>④湿らしたきれいなウエスをシミ部分に乗せます。</p> <p>⑤弱温に設定したアイロンまたはドライヤーの温風を当てて 30 秒程度温めます。</p> <p>⑥1 時間程度放置した後、きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑦乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑧シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p style="text-align: right;">Copyright RINREI</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色等がないか確認する。 ●アイロンを使用して長時間温めたい場合は、30 秒毎にカーペットパイルの様子を確認しながら行う。 ●塩素系漂白剤の使用は不可。カーペットの素材色も変えてしまう恐れがあるため、絶対に使用しない。 |
| カレーのシミ | |
| 使用ケミカル | <ul style="list-style-type: none"> ■ RCCシミトリクリーナーマルチタイプ ■ 酸素系漂白剤顆粒  |
| タイプ分類 | 色素系汚れ |
| 作業方法 | <p>①酸素系漂白剤顆粒をシミ部分の表面に薄く拡がる程度にまんべんなくふりかけます。</p> <p>②RCCシミトリクリーナーマルチタイプをスプレーします。</p> <p>③シミ取りブラシでシミが広がらないように注意しながらしっかり馴染ませます。</p> <p>④5～10 分程度時間を置きます。</p> <p>⑤シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。</p> <p>⑥きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑦乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑧シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p style="text-align: right;">Copyright RINREI</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●カレーのシミは特に除去が難しいため、作業は根気よく行う。 ●作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色等がないか確認する。 ●加熱することで除去しにくくなる場合があるので、加熱は行わない。 ●塩素系漂白剤の使用は不可。カーペットの素材色も変えてしまう恐れがあるため、絶対に使用しない。 |

| 古くなった血液によるシミ | |
|--------------------------|--|
| 使用ケミカル | <input checked="" type="checkbox"/> RCCシミトリクリーナーマルチタイプ <input type="checkbox"/> 酵素ジアスターゼ（大根おろし） |
| タイプ分類 | 色素系汚れ、蛋白系汚れ |
| 作業方法 | <p>①RCCシミトリクリーナーマルチタイプをシミ部分にスプレーします。</p> <p>②シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。 (ウエス等は小まめに取り換える)</p> <p>③きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>④シミが除去できるまで①～③の作業を繰り返します。</p> <p>⑤乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑥シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p>※上記作業でシミが落ちなかった場合</p> <p>①擦りおろした直後の大根を汁ごとシミ部分の表面にまんべんなくふりかけ、しっかり馴染ませます。</p> <p>②30分程度放置し、シミの色が赤褐色から赤色に変わったのを確認し、大根おろしを取り除きます。」</p> <p>③シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。 (ウエス等は小まめに取り換える)</p> <p>④乾いたきれいなウエスをシミ部分に押し当て、水分を出来るだけ取り除きます。</p> <p>⑤RCCシミトリクリーナーマルチタイプをシミ部分にスプレーします。</p> <p>⑥シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。</p> <p>⑦きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑧シミが除去できるまで⑤～⑦の作業を繰り返します。</p> <p>⑨乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑩シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ● 血液は感染媒体となりうるため、必ず、手袋、マスク等の保護具を着用するなど感染予防措置を行う ● 作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色等がないか確認する。 ● 除去できなくなる恐れがあるため、絶対に加熱したり、熱いお湯などを使用しない。 ● 塩素系漂白剤の使用は不可。カーペットの素材色も変えてしまう恐れがあるため、絶対に使用しない。 |
| コピートナー・プリンターカートリッジインクのシミ | |
| 使用ケミカル | <input checked="" type="checkbox"/> RCC油性シミトリ <input checked="" type="checkbox"/> RCCシミトリクリーナーマルチタイプ |
| タイプ分類 | 色素系汚れ、樹脂系汚れ |
| 作業方法 | <p>※コピートナーの場合には事前にバキュームをかけ、可能な限り除去しておきます。インクの場合にはペーパータオルなどで可能な限り吸い取っておきます。</p> <p>①RCC油性シミトリをシミ部分に濡らしすぎない程度にスプレーします。</p> <p>②シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。</p> <p>③RCCシミトリクリーナーマルチタイプを作業部分に、吹きかけます。</p> <p>④シミ取りブラシを別のタオル等で包み直し、パイル目に沿って縦横に擦り、油分を取り除きます。</p> <p>⑤シミが除去できるまで①～④の作業を繰り返します。</p> <p>⑥きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑦乾いた布を押し当て、水分を取り除き、シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ● 作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色等がないか確認する。 ● 加熱することで除去しにくくなる場合があるので、加熱は行わない。 ● パイル接着タイプのカーペットは油性シミトリでバック材が溶解する事があるため、注意が必要です。 |



Copyright RINREI



Copyright RINREI



| 粘着テープ痕によるシミ | |
|-------------|---|
| 使用ケミカル | <ul style="list-style-type: none"> ■ RCC油性シミトリ ■ RCCシミトリクリーナーマルチタイプ □ IPA (イソプロピルアルコール・・・ガソリンタンク水抜き剤) |
| タイプ分類 | 樹脂系汚れ |
| 作業方法 | <p>①RCC油性シミトリをシミ部分に濡らしすぎない程度にスプレーします。</p> <p>②シミ取りブラシをウエス等で包み、シミの外側から中心に向けて叩くようにシミを取ります。</p> <p>③RCCシミトリクリーナーマルチタイプを作業部分に、吹きかけます。</p> <p>④シミ取りブラシを別のタオル等で包み直し、パイル目に沿って縦横に擦り、油分を取り除きます。</p> <p>⑤ベタツキがなくなるまで①～④の作業を繰り返します。</p> <p>⑥乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑦シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p>※上記作業でシミが落ちなかった場合</p> <p>①布にIPA(イソプロピルアルコール)を染み込ませたものでベタツキのある部分を拭き取ります。 固形物がある場合には、スプーンなどで掻き取ります。</p> <p>②RCCシミトリクリーナーマルチタイプをスプレーします。</p> <p>③シミ取りブラシを別のタオル等で包み直し、パイル目に沿って縦横に擦り、粘着剤を取り除きます。</p> <p>④きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑤乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。</p> <p>⑥シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。</p> <p>※数日してまた汚れが付着する場合には、上記①～⑥の作業を繰り返し行って下さい。</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色・異常等がないか確認する。 ●IPAは引火性が強いので、火気のあるところでは絶対に使用しないこと。また、換気を充分に行うこと。 ●パイル接着タイプのカーペットは油性シミトリでバック材が溶解する事があるため、注意が必要です。 |





Copyright RINREI

| 凍結タイプで除去できないガム | |
|----------------|--|
| 使用ケミカル | <ul style="list-style-type: none"> ■ RCC油性シミトリ ■ RCCシミトリクリーナーマルチタイプ |
| タイプ分類 | 樹脂系汚れ |
| 作業方法 | <p>①RCC油性シミトリをガムに、濡らしすぎない程度にスプレーします。</p> <p>②ガムが軟らかくなるまで数分放置します。</p> <p>③ガムが軟らかくなったら、スプーンなどをパイルに強く押しつけるようにしてガムを掻き取ります。</p> <p>④ガムが除去できるまで①～③の作業を繰り返します。</p> <p>⑤RCCシミトリクリーナーマルチタイプを作業部分に、吹きかけます。</p> <p>⑥シミ取りブラシを別のタオル等で包み直し、パイル目に沿って縦横に擦り、油分を取り除きます。</p> <p>⑦シミが取れるまで①～⑥の作業を繰り返します。</p> <p>⑧きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。</p> <p>⑨起毛した後、乾燥させます。</p> |
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色・異常等がないか確認する。 ●パイル接着タイプのカーペットは油性シミトリでバック材が溶解する事があるため、注意が必要です。 ●ガムが軟化していない状態で無理に掻き取ろうとするとパイルを傷める恐れがあるため注意が必要 |



Copyright RINREI

| 鉄サビによるシミ | |
|----------|--|
| 使用ケミカル | ■ RCC鉄サビシミトリ  |
| タイプ分類 | 鉄サビ汚れ |
| 作業方法 | ①RCC鉄サビシミトリをきれいなウエス等に浸み込ませます。 ②鉄サビが付着している部分に鉄サビシミトリを浸み込ませたタオルを乗せ、上から軽く押した後、約5分間放置します。 ③放置後、湿らしたタオルで鉄サビを拭き取ります。 ④シミが除去できるまで①～③の作業を繰り返します。 ⑤乾いたタオルを押し当て、水分を取り除きます。 ⑥起毛した後、乾燥させます。 ※上記作業でシミが落ちなかった場合 ①RCC鉄サビシミトリを鉄サビの付着している部分に少量染み込ませます ②RCC鉄サビシミトリを含ませたきれいなウエス等を、鉄サビが付着している部分にのせて、その上からラップを被せてオモリになる物を乗せ、30～60分間放置します。 ③シミ取りブラシを別のタオル等で包み直し、パイル目に沿って縦横に擦り、鉄サビを除去します。 ④きれいなウエスを水またはお湯で湿らせて、拭きあげます。 ⑤乾いた布を押し当て、水分を取り除きます。 ⑥シミ取りブラシで起毛した後、乾燥させます。 ※シミが完全に除去できない場合には、日を置いて①～⑥の作業を再度行います。 Copyright RINREI |
| 注意事項 | ●作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色・異常等がないか確認する。 ●什器等、金属に鉄サビシミトリが付着しないよう注意する。 |

| アルカリによる焼け | |
|-----------|---|
| 使用ケミカル | ■ RCC鉄サビシミトリ  |
| タイプ分類 | 繊維変色 |
| 作業方法 | ①RCC鉄サビシミトリをシミ部分に濡らし過ぎないように散布し、ブラシ等でなじませます。 ②そのまま、乾燥するまで放置します。その際、【作業中】の看板を設置する等、歩行されないようにします。 ③乾燥後、湿らしたタオルでよく拭きます。 ④乾いたタオルを押し当て、水分を取り除きます。 ⑤起毛した後、乾燥させます。 ※一度の作業で完全に除去出来ない場合は、日を置いて①～⑤の作業を再度行います。 Copyright RINREI |
| 注意事項 | ●作業前には、必ず目立たない所など支障のない箇所で、カーペットに変色・異常等がないか確認する。 ●什器等、金属に鉄サビシミトリが付着しないよう注意する。 |

□スマートドライシステムを導入している場合のシミトリ作業時の注意点

スマートドライシステムを導入している場合、上記のシミトリ作業を実施すると、パイルに定着しているドライピッカーも一緒に除去されてしまいます。そのままにしておくと、カーペットの汚れの原因になりますので、シミトリ作業後にドライピッカーの5倍希釈液をハンドスプレーなどで2～3回散布して、ドライピッカーを補充しておくようにしてください。